

## 専門部会議事内容結果（要旨）

|        |   |
|--------|---|
| 専門部会名  | 総合政策部会  |
| 開催日時   | 令和8年3月5日（木） 18時30分 ～ 20時00分   |
| 開催会場   | 名寄市役所名寄庁舎4階第1委員会  |
| 出席委員   | 出席者：結城委員、遠藤委員、石田委員、今野委員、伊藤委員、守岡委員、上西委員<br>成田委員、松前委員、高橋委員、鎌塚委員、小川委員<br>欠席者：今野委員  |
| 事務局出席者 | 石橋総合政策部長、櫻田総合政策室長、瀬野総合政策課長、斉藤総合政策課主査、横澤総合政策課主事  |
| 審議事項   | <p><b>1 開 会（櫻田総合政策室長）</b></p> <p><b>2 部長挨拶（石橋総合政策部長）</b><br/>明日からJOCはじまるが、この時期にこんなにきれいなコースはないと褒められる。名寄市に雪がある価値がより一層出てきていると感じている。<br/>今日は計画の基本構想について議論を行う。皆さんが感じたことを率直に意見として出していただきたい。</p> <p><b>3 議 事</b><br/>(1) 第3次総合計画における基本構想について（瀬野総合政策課長）</p> <p><b>4 そ の 他（瀬野総合政策課長）</b><br/>今後のスケジュールについて説明</p> <p><b>5 閉 会（櫻田総合政策室長）</b><br/>頂いた意見を基に事務局にて修正案を作成。<br/>改めて部会でご確認いただく。</p> |

|             |  |
|-------------|--|
| <p>発言内容</p> | <p><b>○基本構想全体の質問</b></p> <p>■委員：「多様な主体」という言葉が基本理念と将来像で意味合いが違うのが気になる。「多様な主体」はどのようなものか。</p> <p>◎事務局：将来像の「主体」はまちづくりのプレイヤーの意味合いで使っている。基本理念のつながりづくりの「プレイヤー」も同じものを指している。基本理念でしっかり説明するようにしたい。</p> <p>■委員：外国人も市内に増えている。多様なバックグラウンドの人が良いと思えるという視点が良いのでは無いか。</p> <p>■委員：「主体」という言葉を「担い手」に替えられないか。</p> <p>◎事務局：「担い手」という表現しっくりくる。検討する。</p> <p>■委員：「主体」という表現がわかりにくいかもしれない。</p> <p>■委員：基本目標5に大学の文言が出てこない。将来人口が少ないまちに若年人口が千人いることは重要なことだと思う。</p> <p>◎事務局：令和9年度から法人化するが、行政計画に記載することに違和感ないか。</p> <p>■委員：地域とのつながりを大事にするのであれば、大学を記載することはいいのではないか。市全体の計画なので記載していくべき。</p> <p>■委員：「担い手」という言葉を大学としての計画で使っていこうというアイデアであるが、その観点でいいのでは。</p> <p>■委員：行政がやっていることだけでは無く、名寄市にある資源を活用していくべき。</p> <p>■委員：29ページの土地利用の考え方がすごく具体的な内容である。「空間活用」など少し表現を変えてもいいのでは。</p> <p>■委員：ゾーンなどの表現がいいのでは。</p> <p>■委員：基本目標2の「高齢者や障害者が社会から孤立する」じゃなくて安心して暮らせるような夢を持てる表現に変えてはどうか。</p> <p>■委員：繋がりという言葉を使えないか。社会とのつながりなど。また、「高齢者や障害者」だけでなくもっと多様なつながりを表現する言い方でもいいのではないか。</p> <p><b>○将来像に関する意見</b></p> <p>■委員：市民ワークショップ自分も参加していた。名寄のまちの良さを参加者が把握していたと感じた。本会議で柔軟に考えて出し合ってもいいのではないか。</p> <p>■委員：どうしてこのキャッチフレーズにしたか。</p> <p>◎事務局：ワークショップで出たキーワードを基に、若い人が多かったことから堅くならないように将来像を作成した。キャッチコピー的な言葉と自然、つながりの3つのキーワードをポイントに作成した。</p> <p>◎事務局：キャッチコピーのようなものを入れるのは初めてだと思う。キャッチーでわかりやすいが、一方で「じゃなく」という表現がどうかと言う意見もある。「ここでいい」から「ここがいい」へ、など違う表現もあるかと思う。</p> |
|-------------|--|

|             |   |
|-------------|---|
| <p>発言内容</p> | <p>■委員：キーワードで自然がたくさん出てきているが、皆さんはどこに自然を感じているか。ワークショップの中でも自然というキーワードが多く出てきている。自分はあまりイメージができていない。基本理念から将来像につなげると考えると、自然は基本理念にない。</p> <p>■委員：自分の子どもは内地に行っている。名寄市は農地がまちに隣接している。四季の風景が農地の様子でわかる。稲の黄金色で秋だとわかるように作物が成長する段階がわかる。都会ではわからない。暮らしていると感じることは少ないが自然と触れ合っている。</p> <p>■委員：令和42年には人口が1万人を切る。不安なのは老後の状況である。面積があるのに人が少なくなるとインフラが間に合わなくなる。ここで住んで良かったというフレーズは良いと思うが、人口減に対応していくために今住んでいる人が死ぬならここで死にたいと思えるまちがよいのではないかと。定住しなくても親が名寄市に住んでいれば子どもが様子を見に来るだけでも経済効果があると思う。今住んでる人に良かったなと思って貰えるまちづくりが必要ではないか。「ここでいいじゃなく、ここがいい」というフレーズはいいと思う。</p> <p>■委員：他の自治体の将来像を見るとネガティブな言葉から始まるまちはない。「ここがいい」というポジティブな言葉が最初に来る方がいいのでは。</p> <p>■委員：若者が率直な気持ちで書いたのかなと思う。自分的にはいいと思う。</p> <p>■委員：「ここがいい」というのはいいと思うが、抽象的なので「名寄がいい」がいいのではないかと。</p> <p>■委員：読み取りによっては「ここ」は家族など居場所とも読み取れる。</p> <p>■委員：抽象的でいいと思う。名寄というと風連や智恵文はどうなのになってしまうのではないかと。</p> <p>■委員：自然をPRできていないのがもったい気持ちもある。「豊かな自然を生かす」ような表現にできないか。</p> <p>■委員：生きた自然などの表現もいいのでは。</p> <p>■委員：生きた自然と人のつながりを活かしたなどの表現がいいのでは。</p> <p>■委員：農業の話をする、今年3組の新規就農者がいる。どういつながりがあるかいうと、声かけをしたり、会合に参加してもらったり、鳥獣の会合でも紹介をしている。就農して何年か経った方は新規就農者の力になれといっている。それが口コミで広がっていく。地域に紹介しながら地域になじんでいくのが必要。そういう場をどんどん作っていったらどうか。輪を広げていく。研修のようなもの。企業の努力も必要。</p> <p>■委員：自然よりも四季という言葉使えないか。雪、営みなどキーワードとしていいのではないかと。</p> <p>■委員：農村地域の風景は人の営みを先に言うと良いのでは「人の営みと豊かな自然」など</p> |
|-------------|---|

発言内容

○基本理念に関する意見

- 委員：人のつながりは重要と思うが、ご時世的に声をかけづらい状況もある。中学校で農業の講演をしたが、顔覚えてねと言ってきた。声をかけると通報されてしまう。小中高校生と地域のつながりを行政も間に入れて何かできないものか。
- 委員：2次まで表現があった暮らしづくりの表現が今回の基本理念に感じられない。
- 委員：暮らしづくりは幸せづくりに吸収されているという認識だと理解している。
- 委員：考え方は理解できるが、しっかりと表現しないと伝わらないのではないか。
- 委員：基本理念について「ひとづくり」と「つながりづくり」について、ここからどのように「暮らしづくり」が繋がるのか見えるとよいのでは。